



令和5年7月19日（水）発行

花高通信 7月号

岩手県立花泉高等学校

岩手県一関市花泉町字花泉字林の沢 17-9

TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

花プロ事業 「地域史学（1年）」の実施



ハナイズミモリウシ
の標本です

6月27日（火）1学年対象で「地域史学」が行われました。これは「自分たちの暮らす地域について学ぶことにより、地域の歴史や文化、産業についての興味・関心を養い、知識を蓄える」ことを目的に実施されるものです。生徒たちは地域にあるさまざまな遺跡を見学したり、先人の残した業績を教えていただいたりして、地域に対する関心を深めていました。



卒業先輩の話を聴く会

6月29日（木）に卒業先輩の話を聴く会が行われました。現在進学、就職先で活躍している先輩が、高校時代にどんなことを考えて生活していたのか、また社会へ出て何を感じているのかといった生の声を聴く貴重な時間でした。



生徒会役員選挙

7月13日（木）に生徒会役員選挙の立合演説会が行われ、新しい生徒会執行部が選ばれました。新執行部の皆さんにはぜひ頑張ってほしいと思います。



高校野球特集

7月7日（金）今年の高校野球岩手県大会が開催されました。今年度新たな「聖地」となった「きたぎんボールパーク」の記念すべきオープニングゲームに本校が出場しました。盛岡市立高校相手に好ゲームとなりましたが、0 - 4で敗戦し、初戦突破は果たせませんでした。しかし、久しぶりの全校応援、新球場で躍動する花高野球部の選手たちを精一杯応援することで、学校の団結力が発揮され、「小規模校だからこそ輝ける」ことを見せることができました。野球部のみなさん、そして応援のみなさんお疲れさまでした。



本年度は声出し応援解禁！数は少ないですが、力いっぱい応援してきました。

新聞記事より「後輩の支えに感謝」

三回に先制された。花泉の捕手・山畑暁成主将（3年）は投手に向かい、自分の胸をたたいて見せた。「自信持って投げてこい」。投手は1学年下。その後、2死満塁のピンチを三振で切り抜け、山畑主将はガッツポーズした。

たくさん助けられているから、返したい。そんな気持ちからの行動だった。ベンチの17人中、約半数が後輩。学年を気にせず、練習で隙があれば遠慮なく言い合ってきた。そんな関係性に感謝してきた。昨秋の県大会は1回戦敗退。どうすれば自分のリードで勝利に導けるか。打者心理を見極める目を磨くため、本も読みあさったが、大事なのはバッテリーを組む後輩らと相手の弱点を話し合うことだと気づいた。

この日。ほぼ毎回、バッテリーでタイムをとり、声をかけ合った。「問題ない。攻撃で取り返そう」。そんな言葉をかけ合った。試合終了後、スタンドに一礼をしたら涙が出てきた。支えてくれた2年生投手ら後輩たちへの申し訳なさと、感謝がこみ上げた。

明日からやるべきことが見つかった。「練習から大会まで、全員で一つのボールを全力で追うことができてよかった。明日からは恩返しのため、後輩たちの練習を全力でサポートする」

（朝日新聞 R5.7.8）

花泉高校の学校情報はホームページでもご覧になれます。

HP アドレス

<http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>



花泉高校の学校生活の様子はnote上に公開しています
こちらぜひご覧ください

note アドレス

<https://han-hs.note.jp/>

 note

